

# ますは

## 「祈りが終わると」

「祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、

皆、聖霊に満たされて、堂々と神の言葉を語り出した。」

(使徒言行録 第4章31節・新約聖書216頁)

はじめに

聖霊降臨とは主イエスが私たちと共にいてくださることが実現された出来事です。主と共に歩むとの信仰は私たちさまさまな体験をもたらします。それは新約聖書に記されている弟子たちが味わったことでもあります。先週は主イエスが「神に愛され、人に愛される者として成長した」ように、私たちも神に愛されるだけでなく、人々からも好意を持たれる存在になる、そしてその証しにより、毎日仲間が加えられていったのだと申し上げました。この証しこそ、愛の冷えていくこの世にあって私たち信仰者に求められていることです。私たちの証しが用いられ、主と結びついてもらいたいと願います。

神に愛され、人に愛される

まわりから好意を寄せられるのは、意識することではなく、神に愛されていることを実感することで醸し出される恵みです。これを「静」の証しとするならば、今日申し上げるのは「動」の証しです。

ここには「皆、聖霊に満たされて、堂々と神の言葉を語り出した」とあります。弟子たちは主イエスが昇天されたのち、世間の目を恐れ、隠れるような生活していたのですが、聖霊が降ったことにより、見違えるような行動をするようになりました。堂々と神の言葉を語る、これは第6章に出てくるステファノを見ると明らかです。信徒であるステファノが堂々と神の言葉を語っていますが、それは聖霊がなせるわざです。それにより、多くの人たちが真理を悟り

始めます。そして言葉そのものが生きて働く。主が語られた時のように、そこにみわざが起こっていくのです。そのような働きが私たちにも期待されているのだと言ってよいでしょう。祈り始める

なぜ彼らは堂々と神の言葉を語ることができたのでしょうか。それは求めたからに他なりません。そして求めたのは「脅し」「迫害」があったからです。私たちはこのような圧力を感じない社会で生活しています。幸いでしょうか。宣教の点から言えば、「いいえ」です。問題意識を感じないほど平安な毎日を過ごしている。だから逆に「堂々と語らせてください」との求めがないのです。これはサタンの巧みな仕業、恐ろしい罠に陥っていると云わざるを得ません。

どのように祈るか

彼らはどのように祈っていたのでしょうか。まず「脅しに対抗できるようにしてください」そのために、「御言葉の剣」を授けてくださいと祈りました。私たちのエフェソの手紙で明らかにされていますが、信仰によるさまざまな防具にあって、唯一、攻撃できる武具が「御言葉の剣」です。次に「しるしと不思議なわざが行われるように」と祈りました。私たちは主イエスの口となって御言葉を語るのです。そしてその言葉にはしるしが伴いました。この祈りを私たちは一つ思いになってささげていくべきなのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

『「主よ、今こそ彼らの脅しに目を留め、あなたの僕たちが、堂々と御言葉を語れるようにしてください。どうか、御手を伸ばし、聖なる僕イエスの名によって、病気が癒やされ、しるしと不思議な業が行われるようにしてください。』祈りが終わると、一同の集まっていた場所が揺れ動き、皆、聖霊に満たされて、堂々と神の言葉を語りだした。」(使徒言行録 4:29～31)

「それゆえ、悪しき日にあってよく抵抗し、すべてを成し遂げて、しっかりと立つことができるように、神の武具を取りなさい。…霊の剣、



すなわち神の言葉を取りなさい。…私が口を開くときに言葉が与えられ、堂々と福音の秘義を知らせることができるように、私のために祈ってください。…私はこの福音のための使者として鎖につながれていますが、どうか語るべきときに、私が堂々と語ることができるように祈ってください。」(エフェソの信徒への手紙 6:13、17、19、20)

神さま、私が、サタンの働きに対抗し、「堂々と御言葉を語ることができるように」との祈りを熱心に捧げることができるようにしてください。御名によって祈ります。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (109) 第5章13節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「導く人の声を聞かず 教える人に耳を傾けなかったのか。」

◎口語訳 「教師の声に聞き従わず、わたしを教える者に耳を傾けず、」

◎新改訳 「私は私の教師の声に聞き従わず、私を教える者に耳を傾けなかった。」

#### 「導く人」

後悔をするのは、「こうしてはいけないよ」との言葉を誰かから聞いているからです。

この箴言では父が子を諭す言葉が続いており、この箇所もその中の一つなので、ここで言う「導く人」は父でもあるのですが、父だけではなく、その他にも導く存在があることが感じられます。もともと神の民たちは共同体の意識が強く、箴言で「父」といっても、それは実父だけではなく、部族や集団などの長老なども「父」でした。ですから、「導く人」「教える人」は一人ではなく、子どもたちを健全な信仰に導こうとする善意ある人々であり、子どもたちはそのような人たちに生まれ、育っていったのです。

保護司をしていると、時々地域の人たちとの会合に顔を出さなければならぬことがあります。そこには学校の教師、公民館のスタッフや健全育成会、PTAなど様々な立場の人たちが

#### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アグルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

集まってくるのですが、皆子どもたちのことを気遣い、支えようとしている人たちです。ただその人たちの多くは、注意しようとする状況に遭遇しても、最近はこわくて簡単に直接声をかけることができないと言われています。

小学生などは「変な人に声をかけられた」「知らない人に叱られた」と報告されて、大問題に発展したりしますし、中学生になると、反対に「うるせえんだよ」とにらまれ、反撃されてしまう。せっかくの「導き」が、生きてこない世の中になっているのです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第53編2節「愚か者は心の中で言う『神などいない』と。彼らは墮落し 忌むべき不正をなす。善を行う者はいない。」◆この詩は14編と内容がほぼ同じである。違うのは5節で、14編では彼らが大いに恐れるのは、「神が正しき人の輪の中におられるから」となっているが、この詩では、神が神にたてついている者の「骨をまき散らしたから」と記されている。神を否定する者は、神がおられることを、両面、すなわち、神を信じている者が祝福されることや自分が恥をかくことで認識するのである。私たちはその時、彼らのために祈り、伝道すべきなのだ。

●賛美 / 186 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。  
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第54編6節「見よ、神はわが助け。わが主は私の魂を支える人々の中におられる。」◆私たちはしばしば苦境に陥る。計画通りに行かなかったり、思わぬ危機にさらされたり、関係が崩れたり。そのたびに心は動揺し、「神さまははたしてお守りくださるのだろうか」と思ってしまう。ダビデもそうだった。すぐに「助けてください」と叫び、ある時には「なぜ見捨てられるのですか」と叫ぶ。だが彼はそれで祈りを終えたのではなく、それを言い続けていった。すると不思議にも、神は助けてくれるのだとの確信がわき、賛美に変えられていったのである。

●賛美 / 187 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第55編14節「だが、それはあなたなのだ。私と同等の立場の者、友、心を許した人。」◆何よりも心に痛手を受けるのは、慕っていた人や友人からの裏切りである。真の教友は、あなたを喜ばすような言葉かけをする者ではない。ダビデはそのような者の裏切りにあっているのだ。言葉巧みに近づいてきた「友人」だけでなく、愛してやまない息子からの裏切りも受けた。どれほどつらかったらうか。人間不信にさえ陥る。あなたの心を神へと向かせ、また、知られぬところで静かにとりなす者こそが、真の友である。

●賛美 / 188 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように  
◆宗教法人を取得できるように  
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第56編9節「あなたは私のさすらいの日々を数えてくださいました。私の涙をあなたの革袋に蓄えてください。」◆あなたは今までにどれだけの悲しみを味わってきただろうか。主を知らずにいた時の悲しみは、それこそ耐えがたいものだったに違いない。だが、今は主がすべてを受けとめてくれる。その涙の一滴もこぼれさせずに、革袋に蓄えてくださると言われる。革袋は水を保存するものだから、蒸発してなくなることはない。つまり、主はそのひとつひとつを心に留めてくださり、私の魂を守り通してくださるのだ。神に信頼する者は恐れることはない。

●賛美／189 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第57編9節「目覚めよ、私の栄光よ。目覚めよ、豎琴よ、琴よ。私は暁を目覚めさせよう。」◆ダビデはご存知の通り、琴の名手である。彼の琴は多くの祈りの詩を生み出した。人を慰め、力づけることもあったが、自分に降りかかった災いに、夜、苦しみのあまり、眠れなくなった時も彼は琴を持ち出して、神の前に歌い始める。多くの詩がそうであるように、最初は嘆きから始まったに違いない。だが、ほどなく神への賛美に変わっていく。私はこの闇の夜を破り、希望の朝を待つことができるのだと、そう歌うのだ。

●賛美／190 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第58編8節「彼らは水のように流れて消え去り 踏まれた草のように朽ち果て」◆ダビデの求めは過激のように感じる。何もそこまで言わなくてもいいのではないのかと。だが、よく自分を振り返ってほしい。言わないまでも、その人に死んでほしい、不幸な目に遭ってほしいと「願ってしまった」ことはないだろうか。ダビデは、自分の心に正直に祈っているのだ。主は私たちの心をご存じであり、いまさらかっこうをつけてもしようがない。だからこそ、私たちも心の奥底にあるものを、神だけにのみだが、口にすべきだ。そうしたら、自分も取り扱われるだろう。

●賛美／191 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第59編7節「彼らは夕べに戻って来て 犬のようにほえ、町を巡り歩きます。」◆私たちの敵は、いろいろなあざけりをもって私たちの心を動揺させる。主は、ののしられ、つばをかけられ、「おまえの神に助けを呼べ。神はいないのか」とさえ言われている。だが、主は絶対的な信頼の中で平安を保っておられた。祈っていると、「そんな祈りを誰が聞くものか」との声が聞こえる。誰が言っているのか。実は、自分である。自分の罪深さを感じている時、自分でつぶやいてしまうのだ。耳をふさいで祈れ。主はあなたの祈りを聞かれる。

●賛美／192 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【しとげんこうろく 8:4～40】

「フィリポのせんきょう」

(しとげんこうろく 8:4)

どうとうと みんなのまえで せいしよを と きあかし、イエスさまが すくいぬしであるこ ことを つたえることができたステファノは 12 でしの ひとりでも、せいしよを べんきょうし た がくしゃでも ありません。イエスさまをし 感じる クリスマンの ひとりでした。でも、 せいれいに ちからをうけて、すばらしい あか しをすることができたのです。

ステファノと おなじ、イエスさまをしんじ るひとのなかに フィリポもいました。このひ とも 12でしではありませんでしたが、イエ スさまを いっしょうけんめいにつたえていま した。せいれいのはたらきがあって、フィリポ の いくさきざきで きせきや するしがおこっ ていました。

あるとき、てんしから みなみにむかいな さい と つげられた フィリポは エチオピアから

きた ひとに であいます。このひとは エチオピ アの じょうにつかえていた、とても ゆう しゅうなひとでした。そのひとが ばしゃのな かで せいしよを よんでいるのが わかりまし た。すると、せいれいが はたらき、「あのひと にこえを かけなさい」と おしえられました。

フィリポが「その せいしよの はなしが わか りますか」と たずねると、「なかなか わかり ません。おとしえてくれるひとが いればいい のですが」といいました。フィリポは、その ひとのばしゃにのり、せいしよのことを おし え、イエスさまの すくいを はなしました。す ると、そのひとは「わたしは かみさまをしん じ、イエスさまのすくいを うけいれます。そ のための バプテスマを うけたいです」とい いました。ばしゃは ちょうどみずのあるところ についたので、そこで フィリポから バプテスマを さずかりました。エチオピアからきた そ のひとは よろこんで いえにかえっていき、ま たフィリポは イエスさまの ふくいんをつた えるために ほかの まちに きました。

## ●かんがえてみよう

☆フィリポは サマリアで どのようなことを していましたか。(しとげんこうろ く 8:5)

☆フィリポは てんしから どこにいきなさいと いわれましたか。(しと げんこうろく 8:26)

☆フィリポは そのみちで どんなひととあいましたか。(しとげんこうろ く 8:27)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

よろこびにあふれて

こ	ふ		び	あ	れ		ろ	よ
ろ	よ	あ	こ	ふ			に	れ
て	れ			よ	に	ふ	あ	こ
						れ	び	に
び	に							
							て	
	こ		に		ろ	よ		
れ	ろ				ふ			
		ふ	あ		よ		れ	て

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① やざのいしよ
- ② さいぜんざん
- ③ ふりばほ
- ④ かをける

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「推し活」

「推し活(おしかつ)」という言葉が定着し、普段の会話にもよく使われるようになってきました。ご存じのように、自分がはまっている(熱中している)人物やアイドル、テレビ番組や鉄道関係などの趣味を応援し(推し)、実際に活動、行動する(活)ことです。

個人的な範囲ならば全く問題がないのですが、最近、「ファンドム」が問題視されるようになってきました。ファンドムとは、自分が推している対象(ファ

ン)の集団(ドム)を指します。つまり、特定の対象を熱狂的に支持するファン集団です。ファンクラブのようなもので、その対象を支える強力な後援者ではあるものの、熱狂的になり過ぎて問題が起こり、それが表面化するようになってきました。

SNSなどを通じて自然に仲間に入ってしまうと、対象のランキングを上げるための過剰な行動、ライバル関係にある対象やそのファンに対する誹謗中傷を展開せざるを得なくなっていきます。それらを徹底するため集団内部の階級化、統制するための「暗黙のルール」を強制するからです。たとえば、対象のグッズが出たならば、それを複数枚買わなければならないなど経済的な問題にも発展していくのです。推し活もほどほどに。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●神の箱の行き先 2

神の箱を奪い、中心都市の一つアシュドドに戻ります。この欄でも取り上げたように、ペリシテは5つの都市で形成された連合国家で、文化や言語は共通していましたが、それぞれが独立し、戦う時には共闘する民族でした。ガザはエジプトに向かう街道にあり、交易の要を担っていました。アスカロンは港町で海上交易が盛んでした。ガトはゴリアトの出身地で、軍事に長けていたと考えられます。エクロンはバアル・ゼブブ、そしてアシュドドにはバアルの神殿がありました。引き上げたのがアシュドドだったのは、最も重要な戦利品はダゴンに献げるべきとの共通認識があったからだと考えられます。

意気揚々と引き上げて、神の箱をバアルに献げるべく、神殿に置いたペリシテ人でしたが、とんでもないことが起こります。翌朝、神殿に行ってみると、ダゴンの像が神の箱の前にひれ伏すようにして倒れているのです。「どうしたんだ」と不思議がりながらダゴンの像を起こし、元にあった場所に戻したのですが、その次の朝は、同じようにうつ伏せになって倒れただけでなく、頭も両手も切り取られているではありませんか。残っているのは胴体だけです。そして、間もなく疫病が発生します。

## ななめ聖書 先週のこたえ

と	ひ	そ	き	に	だ	す	り	ず
だ	す	き	り	ひ	ず	に	と	そ
り	に	ず	そ	す	と	だ	き	ひ
そ	ず	に	と	き	り	ひ	だ	す
す	と	だ	ひ	そ	に	り	ず	き
き	り	ひ	だ	ず	す	と	そ	に
ず	き	り	す	だ	ひ	そ	に	と
ひ	そ	と	に	り	き	ず	す	だ
に	だ	す	ず	と	そ	き	ひ	り

- ①てんしのかお
- ②みやこのそと
- ③かみのみぎ
- ④はぎしり



## パウロの弁明

「兄弟たち、私はファリサイ派であり、ファリサイ派の子です。死者が復活するという希望を抱いていることで、私は裁判にかけられているのです。」

パウロがこう言ったので、ファリサイ派とサドカイ派との間に論争が生じ、議会は分裂した。サドカイ派は復活も天使も霊もないと言い、ファリサイ派はこのいずれをも認めているからである。そこで、騒ぎは大きくなった。ファリサイ派の数人の律法学者が立ち上がって激しく論じ、「この人には何の悪い点も見いだせない。霊か天使かが彼に話しかけたのだろうか」と言った。

こうして、論争が激しくなったので、大隊長は、パウロが彼らに引き裂かれてしまうのではないかと心配し、兵士たちに、下りて行って人々の中からパウロを力ずくで助け出し、兵営に連れて行くように命じた。(使徒言行録23:6~10)



最高法院の様子

## 【パウロを支持する】

パウロが論争の種を蒔いたことで議会は紛糾しました。パウロについて裁く場でしたが、サドカイ派とファリサイ派がそれぞれの立場を否定しようとして、激論が始まったのです。

福音書に書かれている場面もそうでしたが、復活はないと考えていたサドカイ派が主イエスの質問に答えることができず退散したとの報告を受け、気を良くしたファリサイ派は、あわよくば主イエスを自分たちの陣営に引き入れようと、会いに行っています。ここでも「復活を信じている」と証言するパウロの肩を持つとします。「裏切り者は抹殺だ」と、刺客を送ったり、パウロが来たら殺せとの指令を方々に送っていたにもかかわらず、自分たちの立場をよくするために利用しようとしたのです。「この人には何の悪い点も見いだせない。」とは、どの口で言っているのでしょうか。もし、復活が話題に出ていなければ、「こいつは絶対に生かしておけないやつだ」と叫んでいたに違いありません。

## 【激論は続く】

ファリサイ派の人たちがパウロの言っている内容について、「霊か天使かが彼に話しかけたのだろうか」と言っています。これはファリサイ派の人たちの複雑な立場を示している言葉です。

復活は支持しているものの、パウロの言う復活は、「主イエスが復活したことを信じる信仰によって死者が復活する」ことが根拠になっています。もし、そのままパウロの言葉を信じたならば、主イエスが復活したことも認めることになってしまいます。ですから、「話しかけたのだろうか」と、認めるでもなし、認めないでもないよう

なあやふやな言い方をしていると考えられます。

同時に「霊」や「天使」の存在を否定するサドカイ派に対しては、「神からの啓示である可能性があるのだから、否定すべきではない」とアピールをしています。

ペトロたちが最高法院で裁かれているとき、ファリサイ派のガマリエルが「以前にもこのような異端が発生したがいつのまにか消えていったのではないか。この教えが人から出たものなら自滅するだろうし、もし神から出たのだとするなら、私たちが神に逆らう者になるかもしれない」(使徒5:33~)と発言しています。

ファリサイ派の人たちは、「パウロが復活に関して話したことを、頭ごなしに否定するな。もし、神のみ旨によって、霊的存在が語った可能性があるなら、私たちは逆に神に裁かれることになるぞ」と言っているわけで、サドカイ派に「あなたたちは霊も天使も否定するから、このようなことにも気づけないではないか」と、皮肉っぽく批判している言葉にもなります。

売り言葉に買い言葉。サドカイ派の人たちも黙っていられなくなり、パウロをそっちのけで激論し続けたのでした。

## 【パウロ退廷】

「パウロが彼らに引き裂かれてしまう」。議員の興奮ぶりが分かる言葉です。多くの議員が席を立てつかみかからんばかりに議論していたでしょう。大隊長はこの様子を見てパウロを心配し、助けるべく、兵営に連れて行くように兵に命令します。なにしろ、パウロがローマ人であることが分かったこともあり、保護する必要があったからでした。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#2/17)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#2/18～#3/28)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/5～#5/23)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#5/24～#11/28)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/29～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/10・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)  
父の日(6/21・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/22・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)  
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/22～28)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)  
最後の晩餐集会(#4月2日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)  
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

